



304

# 小学校高学年向け 年組

記事は加工しています

2026年3月11日付・下野新聞18面

## 最前線で災害収束の力に

2025年2月、岩手県大船渡市で発生した大規模山林火災で、本県から女性初の緊急消防援助隊員として派遣されたドローン小隊の一員として従事した佐野市消防本部警防課の谷津美希消防士長(37)。災害用ドローンのパイロットとして現場の最前線で活躍する谷津さんに、普段の活動内容や今後の目標を聞いた。

(聞き手・写真 田中佑也)

### 佐野市消防本部警防課 ドローン小隊

谷津 美希さん(37)

佐野市は昨年12月に災害用ドローンを導入し、現在は18人のパイロットがいる。  
―災害時におけるドローンの活用法を教えてください。  
「主に遭難者の捜索や避難の呼びかけを行います。火災では上空から撮影して柱が落ちそうな部分を地上隊に報告し、現場の安全管理もしています。焼失面積を測るなど、災害後の調査も行います」  
―普段はどんな訓練や活動を行っていますか。  
「野球場で飛行訓練を行っています。また実際に山や川

へ行き、遭難者の捜索や強風の中での飛行など現場で起こる事態を想定した訓練を通じて、どのようにドローンでアプローチすれば良いのかを研究しています」  
ドローンパイロットになったきっかけは。  
「女性は現場の後方支援が主となる場面が多くなってしまうが、しかしドローンなら、俯瞰的な立場から現場の第一線で災害の収束に役立つことができます。女性の職域拡大を進める上司の後ろ押しもあり、パイロットを目指しました」  
大船渡市の山林火災で、県の緊急消防援助隊の一員として初めて女性が派遣された。当時の活動について教えてください。  
「赤外線カメラを使って熱源

を特定する、残火の確認を主にやりました。地上で活動する人たちに上空から見える情報を落とし、一つ一つ熱を取るかと思えますが、災害収束への力になりたい」といふ気持ちが変わりませんでした。

―ドローンなら男女関係なく、適材適所な災害対応ができるなというところも実感しました」  
―日は東日本大震災から15年。当時はまだ災害対応にドローンは導入されていなかった。  
―当時ドローンが導入されたら、どのような活用ができたと思いますか。  
「屋根があるとは難しいですが、赤外線カメラで動けなくならぬ人など遭難者を効率よく捜索できたと思います。スプレーを搭載しているので、避難の呼びかけや安心させる声を現場にいち早く届かせることもドローンならできます。初動対応にかなり



ドローンの飛行訓練を行う谷津さん＝佐野市栄町

「全国的にはドローンの導入が進み、災害時の活用にも多くの期待が寄せられている。―新しく試みている訓練や活用方法はありますか。」「延焼範囲をドローンで確認し、地図上にマッピングすることを試んでいます。地上の活動が終わった日没後に焼失面積を測り、日の出前に再度計測し、情報を地図上で照らし合わせます。延焼の進みやその後の予測ができるので、防災ヘリで効率よく消火活動ができるようになります」  
―今後の目標は。  
「ドローンを活用できる場面はたくさんあると思います。操縦の技術を磨き、上空から災害の最前線で消防活動や災害への収束に役立ちたいです。女性の活躍できる幅も広がってほしいと思います」

1988年生まれ。栃木市出身。2011年に佐野市消防本部に入り、北分署で救急隊として勤務。18年からは警防課に務め、23年からドローン隊員としても活動する。

気になるところ  
話題の人に聞く

□437□

## 設問

【1】災害時におけるドローンの活用法としてまわがっているものは、次のア～エのうち、どれでしょうか。

- ア 遭難者の捜索をする
- イ 避難の呼びかけをする
- ウ 上空から撮影して状況を確認する
- エ けが人の応急手当てをする

【2】災害用ドローンを導入している佐野市は、次の地図のア～エの市町のうち、どれでしょうか。正しいものを一つ選びましょう。

【3】谷津さんは、どのような訓練をしていますか。次のア～エのうち、最も適切なものを一つ選びましょう。  
ア 野球場でドロー

ンの基本操作だけを繰り返し練習する  
イ 山や川で、災害時に起こりうる場面を想定した飛行訓練をする

ウ ドローンで物資を運ぶための輸送訓練を行う  
エ 夜間に人を救助するための照明操作の訓練を行う

【4】谷津さんがドローンパイロットになったきっかけについて、次のア～エのうち、最も適切なものはどれでしょうか。

- ア 女性でも災害の最前線で活躍できるように、上司に後押しされて目指したこと
- イ 救急隊員としての経験を生かして、医療活動に役立てるため
- ウ ドローンで撮影した映像を交流サイト(SNS)に載せて情報発信するため
- エ 山林火災で赤外線カメラを使う訓練をすることに興味があったため

【5】ドローンの災害時の新しい活用方法として、どのようなことが書かれていますか。次のア～エのうち、最も適切なものを一つ選びましょう。

- ア 延焼範囲を確認し、地図上にマッピングする
- イ ドローンでけが人を運ぶ
- ウ 避難所に食料を届ける
- エ 上空から音楽を流して住民を安心させる

